平成22(2010)年度

東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻修士課程(社会情報学コース・特別選考枠)

入学試験問題

専門科目

(平成21年8月24日 14:00~16:00)

試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。開始の合図があるまで、 下記の注意事項をよく読んでください。

- 1. 本冊子は、社会情報学コース・特別選考枠の受験者のためのものである。
- 2. 本冊子の本文は2ページである。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合には申し出ること。
- 3. 解答用紙は2枚ある。<u>問題ごとに解答用紙1枚を使用</u>すること。なお、解答 用紙のみが採点の対象となる。
- 4. 解答用紙の上方の欄に、<u>問題の番号及び受験番号を必ず記入</u>すること。<u>問題</u> 番号及び受験番号を記入していない答案は無効とする。
- 5. 解答には必ず黒色鉛筆(または黒色シャープペンシル)を使用すること。
- 6. 解答は日本語によるものとする。
- 7. 試験開始後は、中途退場を認めない。
- 8. 本冊子、解答用紙は持ち帰ってはならない。
- 9. メモ用紙に受験番号を記入すること。メモ用紙は持ち帰らないこと。なおメモは採点の対象にはならない。
- 10. 次の欄に受験番号と氏名を記入せよ。

受験番号		
氏	名	

社会情報学(特別選考) 第1問

次の英文は 1927 年に米国のジャーナリスト Walter Lippmann によって書かれたものである。 よく読んで、以下の問いに<u>日本語で</u>答えなさい。

The private citizen today has come to feel rather like $_{\odot}$ a deaf spectator in the back row, who ought to keep his mind on the mystery off there, but cannot quite manage to keep awake. He knows he is somehow affected by what is going on. Rules and regulations continually, taxes annually and wars occasionally remind him that he is being swept along by great drifts of circumstance.

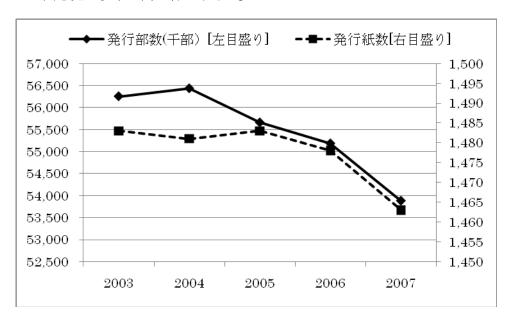
Yet these public affairs are in no convincing way his affairs. They are for the most part invisible. They are managed, if they are managed at all, at distant centers, from behind the scenes, by unnamed powers. As a private person he does not know for certain what is going on, or who is doing it, or where he is being carried. No newspaper reports his environment so that he can grasp it; no school has taught him how to imagine it; his ideals, often, do not fit with it; listening to speeches, uttering opinions and voting do not, he finds, enable him to govern it. He lives in a world which he cannot see, does not understand and is unable to direct.

出典 Walter Lippmann. *The Phantom Public*. (1993 by Transaction Publishers. Originally published in 1927 by The Macmillan Company.)

- (1) 下線部①「a deaf spectator in the back row」という状態について、あなたの周りで観察される具体的な例を挙げて 200 字程度で説明しなさい。
- (2) 下線部②について、「reign」と「govern」の違いを本文に即して 400 字程度で説明しなさい。
- (3) 2009 年現在の状況は、当時(1927 年)と比較してどうだろうか。本文における Lippmann の問題意識を説明した上で、あなたの意見を「情報化」「ネット社会」「デ ジタル化」などの現象と関連付けて800字程度で述べなさい。その際、時代および 地域による社会的・文化的差異を考慮して論じなさい。

社会情報学(特別選考) 第2問

次のグラフは米国における近年の日刊紙の発行部数、発行紙数の推移を示したものである。 この図を見て以下の間に答えなさい。



World Association of Newspaper World Press Trends (2008)より

- (1) 米国でこのデータが伝えるような状況をもたらした原因について説明しなさい。 (200 字程度)
- (2) このような状況によって、読者にはどのような弊害がもたらされうるか、あなたの考えを述べなさい。その際、次の一内の語句は必ず説明に入れなさい。(600 字程度)

人員削減、海外支局、信頼性、テレビ

(3) 日本のメディア環境において、現在、米国のような状況が生じているか、あるいは 将来的に生じうるか、日米間の相違を中心に、あなたの考えを述べなさい。(800 字 程度)